

# 校長室だより

3月号

杉並区立向陽中学校  
平成29年3月24日発行  
校長 菅野 武彦

**「人間賛歌が響き渡る学校づくり」を目指して**  
【今年度のキーワード】

**「建設的な和～みんなの向陽中学校～」**

**学校評価アンケート（4段階評価）の結果に基づく分析・考察**

※校長室だより2月号(29.2.28付)の「5 安全指導等」の続きを掲載します

## ◇ 6 その他（ご意見としていただいた内容について）

□「生徒の怪我の対応について」（2年保護者）

→「以前に子どもが学校の体育の時間に怪我をし、病院に行くと剥離骨折との診断だった。一週間ほどで治ったが親としてはとても驚いた。この件で、先生からも、保健室からも何も連絡なく疑問に思っている。ちょっとした怪我なら良いが、子どものような怪我の場合は、必ず学校側から一報ほしい」とのご指摘がありました。まず、学校が保護者に連絡をしなかったことに対しお詫び申し上げます。申し訳ありませんでした。学校での生徒の怪我については、原則保護者に連絡をすることになっております。ご指摘のような体育の授業中の怪我であれば、担当の教員が生徒がどのような状況で怪我をしたかを確認した後、養護教諭に伝えるとともに生徒の怪我の様子を見てもらい、必要に応じて病院に連れていきます。この際保護者に連絡を入れます。もし病院に連れていかなくてもよいと判断した場合においても、養護教諭もしくは学級担任より保護者に連絡します。今回のご指摘を真摯に受け止め、生徒の怪我に対する学校の対応を徹底してまいります。また、生徒にも怪我をした場合には教員に申し出るよう徹底します。

□「部活動について」（2年保護者）

→「事前説明もなく、明日から部活がなくなると言われ、子どもが試合等で頑張っているのに心を痛めています。保護者はどの様に対応していけば良いのか困っています。協力できることは学校と情報を共有し部活動に役立てたいです」とのご指摘がありました。部活動につきましては日頃より保護者の皆様にご理解とご支援をいただきありがとうございます。各部活動においては活動上の課題を克服しながらもよりよい活動を目指し頑張っています。課題の軽重によっては活動を停止する場合があります。ただ、その事実を生徒も保護者も知らない状況があったとすれば、改善しなければなりません。ご指摘のとおり、部活動の実態を保護者と共有して生徒指導に当たれるようにしたいと思います。

□「定期考査について」（2年保護者）

→「昨年のテスト問題と解答を持っている生徒がいます。不公平です。実技教科に多く、内容がほぼ同じでした。毎年問題を変えてください」とのご指摘がありました。三者面談でも同様の

ご指摘があり、当該教科にはこの事実を伝え考査問題を確認するとともに、次年度以降、改善するよう指導しました。

□「電子黒板の活用について」（2年保護者）

→「電子黒板を取り入れているようですが、先生が黒板に書いて頂いた時の方がノートに写しやすく、授業も丁寧で分かりやすかったです。すぐに消えてしまうし、見にくいようです」とのご指摘がありました。今年度より5教科のデジタル教科書が導入され、これまで以上に電子黒板を活用する授業が増えています。生徒の興味関心を引き出し、より分かりやすい授業を行うことがそのねらいです。ただ、生徒がノートに書き込む時間がないような電子黒板の使い方をしないよう徹底したいと思います。また、できるだけ電子黒板を見やすくするよう工夫します。次年度以降も電子黒板を活用した授業づくりを推進してまいります。ご指摘のようなことがないようにしていきますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

□「体育の授業について」（1・3年保護者）

→○「強い雨の時や寒い時、また台風の水泳の授業はいかがなものか。次年度以降考えてほしい」とのご指摘がありました。夏場であっても気温の低い日もあるため、水泳の授業を行う際には、実施基準の気温と水温を判断材料としています。水泳の授業の途中で雨が降りだし雨脚が強くなる中で授業を続けたことはありました。ただ、台風による影響があったり、雷雨があったりする場合は、水泳の授業は行いません。生徒の安全を最優先して指導を行ってまいります。○「寒い時期の半そで短パンなどは行き過ぎではないか」とのご指摘がありました。体育の授業では、授業内容にもよりますが、体を動かすため自然と体が温まります。寒暖の差にも気を付けるとともに、年間を通して生徒の体調管理をしっかりと行い、授業を行ってまいります。

□「進路に関わる内申について」（3年保護者）

→「杉並区の他校または世田谷区の中学校に比べ、中間・期末考査の内容が厳しく、結果内申点も厳しい評価になってしまう。生徒のことを思ってかと思うが、結局本来の志望校の内申基準に足りない場合、子供の将来を大きく左右しかねないのでは」とのご指摘がありました。ご指摘のような事実は確認できません。また、私が校長として関わっている成績一覧表調査委員会での調査においてもご指摘のような事実は確認できません。保護者の皆様、おそらくはうわさなどでお耳に入ることかと思いますが、本校が定期考査の出題内容を難しくしたり、内申を取りにくくしたりしているといった事実はありませんのでご安心ください。このような話は以前勤務したことのある学校でも保護者の間で話題になっていました。

□「地域班の名簿について」（2年保護者）

→「災害・緊急時に対する保護者の意識が低いと思います。緊急メールに登録していない家庭も多いことから、年1回でも“保護者”対象に実際に引き取りに来るのに、どのくらいかかるかなどの訓練を行ってもいいと思います。また、地域班がなくなったことにより、転校生は近所に誰がいるのか、特に他学年の方は全く分からない状態です。せめて名簿だけでもほしいです」とのご要望がありました。今年度はPTA広報誌“向陽だより 228”にて「震度5弱以上の時、震度5強以上の時」を特集し、保護者の皆様に情報を提供していただきました。ご指摘を受けて、まずは保護者の皆様には緊急メールへの登録を高めたいと思います。ご協力をお願いします。また、地域班の名簿については、PTA運営委員会において名簿を作成することになりました。

## ◇ 『みんなの向陽中学校』を掲げて ～今年度の向陽中学生の手応えより～

“みんなの向陽中学校”を掲げた意図は、○生徒一人一人が何事にも「私がやる！」という前向きな気持ちで取り組ませること、生徒一人一人が大事にされること（生徒一人一人に焦点を当てる）、○学級づくり、学年（行事）づくり、学校（行事）づくり、生徒会・部活動づくりをみんなで行う、つまり“みんなの向陽中学校”はみんなで作ることの2つです。この視点から生徒の手応えを見てみます。※数値は「学校評価アンケート」の生徒の4段階評価の肯定率(%)を示す（左より1年・2年・3年：全校）

### □ **学ぶ**（能動的な学習）

○「私は自分で課題を見つけて、進んで勉強するようになった」

→ (55.7%・55.7%・70.5%：**61.0%**)

○「家庭学習は毎日おおよそ何時間くらいやっているか（塾は除く）」※1時間以上の割合を示す → (73.1・66.5・73.1：**71.0**)

### □ **自立**（自立的な態度）

○「私は多くの人と互いに助け合ったり、協力したりして学校生活を送っている」

→ (84.6・88.0・78.1：**83.4**)

○「私は4月当初に比べ、自分に向き合ったり、自主的に行動したりして、たくましくなっている」→ (78.2・79.2・79.9：**79.0**)

○「私は4月以降、学校や地域でのボランティア活動に参加したことがある」

→ (42.7・71.6・38.9：**51.9**)

### □ **創る**（協働的な態度・自己肯定感）

○「私は運動会や向陽祭などの学校行事に楽しく積極的に取り組んでいる」

→ (89.9・93.0・81.1：**87.8**)

○「私の学級は学年行事や学校行事などの取組みを通して、協調性や団結力が高まっている」

→ (82.8・90.7・83.8：**85.8**)

○「向陽中学校は、運動会や向陽祭などの学校行事に全校が一体となって取り組んでいる」

→ (93.5・96.0・83.2：**90.6**)

○「私は毎日の学校生活が楽しい」→ (80.2・86.7・80.6：**82.5**)

○「私は向陽中学校が好きである」→ (83.3・89.6・76.5：**83.0**)

### □ **思いやり・感謝**（人として生きることの土台づくり）

○「私は4月当初に比べ、他人を思いやったり、他人に感謝したりするようになっている」

→ (82.4・83.7・81.0：**82.3**)

何より嬉しいことは「毎日の学校生活が楽しい」と「向陽中学校が好き」という生徒が8割を超えていることです。本校生徒は明るく元気で活動的です。特に運動会や向陽祭等の学校行事で見せる生徒の一体感は見ている爽快そのものです。また、部活動においても運動系を中心に活力あふれる姿が見られます。

一人一人の生徒にいか「私がやる！」という前向きな姿勢をもたせるか。2年目の取組みとなる次年度は、学習活動や学校行事、部活動等において、『自立した学習者』・『自立した生徒集団』づくりに力を入れます。保護者や地域の方々と協働して“みんなの向陽中学校”を。

◇ 『がんばれ！自分！』をキーワードに“自育力”と“表現力”の育成を目指して  
～今年度（1年目）の取組み状況と検証結果について～

《検証その1》教員による4段階評価（担当学年の生徒の習慣化を評価）

※A：よく当てはまる B：当てはまる C：今一歩 D：当てはまらない 肯定率%

【自育力を育てる習慣づくり14か条】の評価	A	B	C	D	肯定率%
①規則正しい生活は成功につながる習慣づくり	4	14	1	0	97.4%
②自分から声に出してあいさつをする習慣づくり	7	8	4	0	78.9%
③“ありがとう”を毎日言う習慣づくり	7	8	4	0	78.9%
④感情をコントロールする習慣づくり	2	13	4	0	78.9%
⑤くよくよせずに失敗から立ち直る習慣づくり	1	15	3	0	84.2%
⑥我慢強く、ねばり強くくり返す習慣づくり	2	9	8	0	57.9%
⑦小さな目標を達成する習慣づくり	5	12	2	0	89.5%
⑧自分の役割を楽しむ習慣づくり	2	12	5	0	73.7%
⑨人のために行動してみる習慣づくり	6	7	6	0	68.4%
⑩お互いさまの精神で助け合う習慣づくり	3	14	2	0	89.5%
⑪ちょっとした工夫でやり方を変える習慣づくり	1	12	6	0	68.4%
⑫活動の範囲を広げ、挑戦する習慣づくり	2	12	5	0	73.7%
⑬人や書物、作品などから学ぶ習慣づくり	4	11	4	0	78.9%
⑭「指示待ち」→「自ら行動する」習慣づくり	5	6	8	0	57.9%

《検証その2》教員による「学校経営の自己評価」4段階評価より

- （教員対象）「生徒が各自、校内及び校外での活動、そして家庭での生活を通して、自己の課題にしっかりと向き合い、課題解決に取り組むよう指導した。また、保護者と連携し、生徒の課題解決の取組を支援した」の教員の肯定率は**84.2%**であった。

《検証その3》生徒・保護者による「学校評価アンケート」4段階評価より

- （生徒対象）「私は“がんばれ！自分！”を合言葉に『自育力』14か条の習慣づくりに取り組んでいる」の生徒の肯定率は、1年**63.0%**・2年**51.4%**・3年**54.0%**：全体**56.3%**であった。
- （保護者対象）「学校は生徒に『自育力』14か条の習慣づくりが身に付くよう指導をしている」の保護者の肯定率は、1年**73.2%**・2年**79.7%**・3年**70.7%**：全体**74.9%**であった。

＝平成28年度を終えるにあたり 皆様方への感謝を込めて＝

今年度も多くの保護者の皆様並びに地域の皆様に支えていただきました。こうした多くの心の温かさをいただき、私は心躍る思いをたくさんしました。やっぱり「人として生きるって素晴らしいな！」をいっぱい実感しました。この1年、誠にありがとうございました。

私にはつぎなる思いが湧いてきました。それは保護者の皆様は勿論のこと、地域の皆様にも「向陽中学校は」ではなく「私の向陽中学校は」や「私たちの向陽中学校は」と言っていただけのようにしたいということです。菅野武彦